

(所 報)

研究会の動き

◇ 社研定例研究会は、9月19日午後1時半より、第2会議室で「憲法改正問題」というテーマで行われた。報告者は福島新吾、隅野隆徳両氏。福島氏は、平和経済会議による最近の調査結果にもとづき、自衛隊は合憲ではないが、さりとて違憲でもないとして、若し自民党が核保有をも容認するような改憲をおこなった場合は支持できないとする層が一定の数を占めていることを指摘した。そして日本の改憲に登場する勢力があるとすればそれはファシスト勢力であろうと指摘した。

なお隅野氏の報告内容は11号に掲載の通りである。

◇ 物価小研究会は夏休中に研究打合せ会をひらき、次のような年内の長期プランを決定した。なお第1回を予定通り去る18日開き、マルクス価値尺度論についての高須賀氏の報告を中心に活潑な意見の交換を行った。(出席者8名)

9月18日(金) pm 1.30 —— 場所 四階研究室1号室 (以下同じ)

高須賀義博「価値尺度論」(討論者 玉垣良典)

10月9日(金) pm 4.00 ——

森田桐郎『分析物価特集』にたいするコメント

10月23日(金) pm 4.00 ——

長幸男「国際通貨制度」(討論者 富塚文太郎)

11月13日(金) pm 4.00 ——

山田克己「近経独占価格論 — 不完全競争論 — の検討」(討論者 宮崎犀一)

12月18日(金) pm 1.30 ——

中村秀一郎「価格決定力と公共性—G.C.ミーンズと日本の場合」(討論者 石渡貞雄)

◇ 労働問題分科会では「戦後日本の労働力構成と労働運動」という問題を統一テーマとしているが、今回はその第一回として去る9月26日、研究所参与の山下不二男氏が「最近の労働市場の変化と雇用構造」という題で報告をおこない、その参加者から質疑が出され活潑に意見が交換された。なお山下氏の以上の報告の詳細は本月報に掲載する予定である。

第8回事務局会議

今学期最初の事務局会議は、9月15日山田所長以下事務局員7名が出席して開かれた。議

題は(1)社研事務職員の件、(2)事務局体制の件、(3)資料整理の件等が討議された。事務職員については長 事務局長より10月1日付をもって中島由夏氏が正式に就任することになったむね報告され、ついで同席していた中島氏が紹介された。なお10月1日までの半月間は火水木の週3日間12時から午後6時まで社研事務室で臨時に仕事をしてもらうことになった。

お し ら せ

以下の要領で社研図書資料の貸出しをおこないます。ぜひ御利用ください。

- 1) 社研図書資料を借出す場合は、社研事務局の部屋に備付けの貸出簿に所定の記入をした上で借出して下さい。
- 2) 貸出期間は最大1カ月、貸出冊数は1人5冊まで。(ただし特別に必要な場合は事務局員に御相談下さい)。
- 3) 利用は所員および所外研究員とする(学生のための借出しはご遠慮下さい)。

(資料班)

< 編 集 後 記 >

- 1 第12号をお届け致します。秋の空気を腹一杯吸って、月報もふたたび元気な足どりを開始しました。各分科会の研究会も非常に活潑になって来ているようですが、なるべくこの活動状況を紙面に反映させてゆきたいと思しますので、どんな小さなことでもけっこうですから分科会の動きをつたえる記事をどしどし編集部にお寄せ下さい。
- 2 なお最近読まれた著書、論文の批評などもぜひご投稿下さい。批評は必ずしも体系的なものでなくともよく、むしろ1冊の本、一つの論文の特定の問題点を指摘するようなものも大いに歓迎します。また編集企画についてこういうところみをやつたら、というアイデアがあつたらぜひご指摘下さい。
- 3 前号以後の所員発表の論文名。

森田桐郎「南北問題の経済学 — (2) 低開発国と貿易理論」経済セミナー10月号

(編集部加藤(幸)、(佑)記)

東京都千代田区神田神保町3の8

専修大学社会科学研究所 電話(262)3671~5

(発行者) 山 田 盛 太 郎